



2001年 4月15日発行（隔月刊）



# う 羽 化 か

2001年4月  
第25号

横 浜 漢 点 字 羽 化 の 会  
 〒231-0851 横浜市中区山元町2-105 Tel 045-641-1290  
 発行責任者 代 表 岡 田 健 嗣  
 編集責任者 宇田川 幸 子



## 目 次

漢点字変換ソフト「EIBRK」について (9) (木下 和久) . . . . .	i
川上泰一先生に出会って (第7回) (東野 トシエ) . . . . .	1
連載「点字から識字までの距離」(22) (山内 薫) . . . . .	5
漢点字による漢文訓読文表記の試み (岡田 健嗣) . . . . .	9
ご報告とご案内 . . . . .	15
イラスト版「漢点字ってどんな字？」(24) . . . . .	17

## 川上泰一先生に出会って（第七回）

東大阪市 東野 トシエ

### 物理の授業（承前）

それから、盲人のスポーツについても、「盲人バレー（ローリングボール）は、床掃除や。しゃがんで待ってたら動き難いやろ、守備はもつと動きやすい体勢で待たんといかん。普通のバレーボールはもつと跳び上がったりにしてするんや、バレーボールの特徴を無くしてはバレーボールとはいえんぜ。空中でもボールが分かるように音が出るように考えないかん。」とおっしゃっておられました。昭和60年ころにそのようなボールは完成しましたが、盲人のスポーツはどのように変化しているのかはよく知りません。

「昔の人たちは悪かったけんどおもしろかったぜ、いや！活気があった。」と懐かしそうに笑いながら話されておられました。

### 6点漢字の登場

あるとき川上先生が「6点漢字とやらいうのができてきたぞ。」とおっしゃいました。「6点漢字ってそれ

なんですか？漢字だから漢字に関係あるものですか？」「いや漢字とはいえん。字形を無視して音訓の組み合わせで作った符号や。」とおっしゃいました。

「へえっ！じゃあ音訓が同じ発音のものや音だけや訓だけのもの、例えば（い）なんてたくさんありますよね。それに6点で表すのですか？どんなふうになっているのでしょうか。」「それじゃあ私たちがあの8点の懐中定規がなかったころしていたやりかたですか？」とお尋ねすると「そうだよ。漢点字を諸君と同じように前置符号方式で少し勉強したものだよ。」とおっしゃいました。「それじゃあ逆戻りですね。せつかく8点の懐中定規ができたというのに・・・。」と私たち生徒は異口同音にいいましたが、川上先生はおちついておられました。

「で、先生どうされるのですか？」「どうするかってどうもしないよ。そんなに真剣に考えることありません。」「そうなんですか・・・。」「そうだろう、おもしろいじゃないか・・・。漢点字のいい宣伝になります。盲人も漢字を覚えたいと思っている人が大勢います。今までと同じなじみのある表音文字で覚えられるとなるとみんなやるぞ。しかしあれは漢字ではない。偏へんと旁ぼうの組み合わせで漢字はできている。

漢点字一字を作るのに部首選択統合に大変苦勞した。漢字には読みだけではなくその字が持つ意味がある。漢点字はその字の持つ意味をよく考慮して創案した。その字が持つ意味を無視して作ったものは文字とはいえない。あれには字が持つ意味がないので物足りなくなり、漢点字を習いに来る。だから気にすることはありません。」とはつきりおっしゃいました。これはほんとうにそういう人が大勢いらっしゃるのではないのでしょうか？

私は漢点字しか習っておらず、漢字も6点漢字も知りません。漢点字はよくできていると耳にしますととても嬉しいです。とにかく漢点字は盲人が読み書きできる文字だということはいえます。

はたして6点漢字は読めるのでしょうか？

インターネットなどで入手した電子データを、OPで漢点字プリントして、漢点字交じり文で読むと、記号だけでも混乱を招きどこかで妥協しなければなりません（まだ記号類の整理ができていないからです）。

ただ書いて人に渡すだけで楽しいのでしょうか？自分が書いた文字が読めなくていいのでしょうか？私は仮名タイプライターを使用していたことがあります。が、読み返すことができなかつたので、不便でしたし空しくも思いました。

まあ、音声で聞いてそれでいいと。それでは相手がどのような文字を使って書かれているのが分かりませんから、次にその言葉を自分が書きたいときの字を使えばよいのか分かりません。

盲人もパソコンを利用するようになりましてので、漢字の点字はパソコンに近い6点漢字に統一してはとおっしゃる方がいらっしゃいますが、何を根拠にそのようなことをおっしゃっているのか私にはちっとも分かりません。

漢点字は盲人が読み書きできる漢字の点字です。漢点字はただパソコンに入力するためのものではありません。パソコンに入力するだけのものなら、ちよつと極論ですが記号化されたもの（例えば、JISコードやシフトJISコードなど）を使用してもいいと思います。

### 川上先生宅を訪問して

普通科を卒業し理療専攻科に入学前の春に、クラスメイト10人ほどで川上先生宅におじゃましました。例のごとくリツエ奥様が、私たちを迎えるために千里中央の駅と自宅を車で何往復もして下さいました。

そして車の中で話し掛けて下さり、「ここは吹田市



と豊中市の分岐点になります。」などと教えて下さいました。

私は、このとき初めてリツエ奥様とお会いしたのですが、評判通りのほんとうにいい方だなあと思いました。「川上先生の奥様のような人が欲しい。」なんて言っている人もいました。

お寿司などたくさん御馳走になったのですが、「諸君が来たら飲ませてやろうと思つて、とつておきの洋酒があるんや。」とおっしゃり、注いで下さいました。何と美味だったことでしょう。あの味が忘れられなくて……。今、君たちは大阪府立盲学校の生徒やないんやぜ。卒業して入学前やからな。」とおっしゃいました。

後日に聞いたことですが、下級生がひとり一緒に行きたがつていたらしいのですが、川上先生が「今度にしてくれ」とおっしゃったとか、洋酒のことがあつたのでは……。



高級なステレオで音楽を聞かせて下さいました。男生徒はステレオを触つて音の調整をして遊んでいましたが、川上先生は「ええ音にしてくれ！」と笑いながらおっしゃり、私たち女生徒と一緒にソファーに座つて聞いておられました。

「社会人になったら、クラス会して長くつきあつていけよ。一般の人たちはそうしてしているけれど、盲人は余りしていない。年に1回とか数年に1回でええからな、みんなで会うとええぜ。久し振りに懐かしい友に会うのはええもんやぜ。」と川上先生はおっしゃいました。

昭和50年代後半に、漢点字解説と一緒に習つたお友達と川上先生宅へお伺いしました。そのときは高血圧で通院しているとおっしゃり、腕を触つていると「君たちの勘は鋭いからな。」とおっしゃいました。普通科のときはもつと筋肉質だと思つていたけれども……。なんだか皮膚につやがないなあと思ひました。今、中枢神経が再生すると話題になっていますが、

川上先生は「医学部でも頭がいい人が脳外科を専門にするので、そのうち眼科領域が進歩する。目は脳の一部やからな。今の医学は分析ばかりして統合してみえない。身体は一つや。漢点字は漢字を分解して部首選択統合してできた。この統合が大切やぜ。病院へ診察に行つたら、あつちこつちの科を回されてちつとも身体全体をみてくれんのや。」とおっしゃつておられました。

「目が眩うほどの忙しさや。先生は物理やからコンピュータのことは分かるけどな、もうそこまで手

が回らん。コンピュータのことは末田統先生に委せてるんや。」とおっしゃり、「末田統先生は漢点字はご存じないけど、それだけ漢点字が漢字に近いから、漢点字のソフトは作成していただけるんや。」とおっしゃっておられました。

このころ、記号を表すのに漢点字の終わりを表す標識、7の点を利用しておられたようです。例えば、片仮名の始まる標識を7の点と(か)、片仮名の終わる標識を7の点と(や)です。このように漢点訳されている本が日本漢点字協会から貸し出されていたことがあります。確かにこれを利用してと記号類などは明確に区別できます。いずれ利用されるようになるかもしれませんが、まだちょっと早いということで見送られているようです。

川上先生は、末田統先生が作成されたものでコンピュータを利用して漢点訳して下さっておられたようです。ちなみに私が使用している『漢訳国語辞典』は1巻から14巻までは手書きで、残りの15巻から50巻まではコンピュター印刷です。

この『漢訳国語辞典』を作成するに当たっても大変御苦労なされたそうです。一般の辞書を何冊も参考になさって作成したとおっしゃり、晴眼者にも



このような辞書が必要だと御自慢なさっておられました。

そのころ私は住み込みで鍼を習いに行っていて「今ちょっと時間がなくて、帰阪したら漢点字を勉強します。」と申しましたら、やさしく「がんばりなさい。」と言っておきました。

そのときお友達になった数人に漢点字を啓蒙させていただきました。川上先生が「そうして諸君が広めてくれ。K君もN君に勤務して啓蒙してくれている」とおっしゃいました。

数年後お会いしたときに、「私が漢点字を薦めた人たちは忙しいので、中断になっている人もいるかもしれませんが。」と申しましたら「急ぐことはありません。それでいいのです。『漢点字解説』を早く修了する人もそうでない人もさまざまです。」とおっしゃいました。

私が「覚えたつもりが、ちっとも覚えていなくてすぐ忘れている。」と嘆いていると、川上先生は、「それでいいんです。読んで読んで覚えて忘れて覚えていいのです。『読書百遍』という諺があるように、同じ書物を何度も読みなさい。年数を隔てて読むとまた別の感動があります。そのときの環境により感動する場面が違います。」とおっしゃいました。

リツエ奥様が車で、駅まで送って下さり、車中で「あなたがたが来てくれると、嬉しそうな顔をして活き活きしてはるわ。また来てちょうだいね。」と言って下さいました。そうして、電車の座席に座らせて下さり出発寸前に降りられました。



(つづく)

## 点字から識字までの距離(二十二)

山内 薫(墨田区立緑図書館)

緑図書館では、九八年から図書館の近くにある肢体障害者・知的障害者の授産施設へ月一回出かけていて貸し出しを行っている。サービスを始める前に作業所を見学させてもらい、ボールペンを袋に詰める作業などをやらせてもらったが、言葉によるコミュニケーションが難しそうな人も多く、一体どんな資料を用意して持っていけば利用してもらえるのか、不安の中のサービス開始だった。

最初の貸し出しでは、六人の人がCD三枚、子供向きの料理の本と漫画を一冊ずつ、カセットテープを六本借りてくれた。その後もよく借りられるのは、CDが一番多く、次いで「忍たま乱太郎」、「おじやる

丸」「セーラムーン」、名探偵コナン」「ウルトラマン」など、テレビの子供向き番組に関連した本、動物や乗り物の写真集、そして、「週刊ベースボール」「サツカーマガジン」「週刊ゴング」「相撲」などのスポーツ雑誌もよく借りられる。なかには、お祭りが好きな人、映画の好きな人(それも東映の時代劇と限定する人ややくざ映画専門の人)、ヌード写真集の好きな人など、それぞれ嗜好が決まっていて、少ない蔵書の中から好みの本を必死に探して持っていかななくてはならない。

軽度の知的障害の人は、たまに一般の本も借りてくれる。テレビドラマの原作やノベライゼーションをはじめとして、『五体不満足』の大活字版、『鉄道員(ぼっぼや)』の大活字版など大きい文字の本は好まれているようだ。

作業所の六十人の内、約半数の人が登録してくれ、毎回一五人から二十人の人が借りるようになり、今年の三月には、二一名の利用者が、本を二五冊、CDを六五枚も借りてくれるようになった。

しかし、持っていた本をパラパラと見るだけの人や全く本には関心を示さない人も多く、何とか利用してもらえないものかと、一年程前から紙芝居の上演を始めることにした。そうすると普段は本に全く関心を



示さない何人かも紙芝居を見てくれるようになったり、最近は声を掛けると返事をしてくれる人も出てくるようになった。

そうした人たちにふさわしい本はないものかと思っていた矢先、図書館員で構成される世界組織である「IA（通称イフラ・国際図書館連盟）」から『読みやすい図書のためのIFLA指針』（ブローラ・トロンバック編著、日本障害者リハビリテーション協会研究情報課訳 二〇〇一年二月）という小冊子が出ていることを知った。

イフラでは「識字能力の向上と読書奨励を支援する方法論を広め、発展させ、また、どのような方法を実践していけば、識字能力や読書に対する支援が世界中で展開できるかを考え」ている。そして、「字が読めない問題は世界的なものであり、読めなければ、情報へのアクセスが限定されてしまう。誰もが、日常生活のあらゆる場面で、独自の選択をし、よく理解して決断を下すことができるためには、情報への平等なアクセスが必要不可欠となる」さらに、「読む能力が不十分な人々にも平等に情報へのアクセス機会を提供するため、様々な読書材料を用意できるような改善策が必要である。読書材料は大人も子供も関心をもつようなものがよいだろう。従来の形態をとらない、読みやす

くした文学、サインブック、拡大文字印刷、録音図書、ビデオなども考えられる」と述べている。

読みやすい本の研究や出版はスウェーデンが盛んで、「読みやすい図書基金・読みやすい図書センター」という機関まであり、直接読みやすいスタイルにしたものと古典の翻案ものの二通りの本を出版している。内容は小説、短編、探偵もの、詩集、写真集、技術関連の本などで、これまでに五百冊を越える本が出版され、毎年新たに三〇冊出版されている。大部分の読みやすい図書はテープでも聞くことができるという。

それでは具体的にどんな工夫がなされているのかというと、物語の本に関しては、

\* 具体的に書く。抽象的な言葉は避ける。

\* 論理的にする。話の展開は論理的一貫性をもたせるようにする。

\* 話の展開は、長い前置きなしで、直接的且つシンプルなものとし、登場人物も多すぎないようにする。

\* 読者に誤解されるような暗示的な言葉（隠喩）は避ける。

\* 簡潔にする。いくつかの話の展開をひとつの文に詰め込まない。一行に意味上ひとつながりの語句

を置く。

\* 難しい言葉は避けるが、きちんとした大人の言葉を使う。なじみの無い言葉は前後関係を手がかりに説明をする。

\* 複雑な関係は具体的且つ論理的に説明、または記述をする。出来事は論理的及び時系列的な枠の中で、起こるようにする。

\* 著者やイラストレーターには、読者を知り、読む障害とはどういうことなのかを、よりよく学ぶよう奨励する。読者に実際に会って、彼／彼女らの経験や日常生活について話を聞かせてもらうのもよいだろう。

\* 印刷する前に、出来上がったものを試してみる。対象グループの代表者に試してもらい、満足の行くものか、確認する。

などが挙げられている。

具体的には、例えば「大きな役者だ」と言う時、体が大きな人であるとも、役者として大きい、有名であるともとれるが、こういう言葉避けるのと同様に、長い言葉や、見慣れない言葉も使わないようにする。

動詞は能動形が好まれるので、「二人の若者が雇用された」よりも「ふたりの若者を雇用した」の方がよい。また、従属節を使った長い文は、短い二つの文で

書く。読者すべてが場所や国、日付に意識的であるとは限らないので、そういった情報は「一九三二年は祖母がまだ若かった時である」など前後に説明を加える。

特に、読みやすい読み物では、挿絵が、しばしば、他の出版物よりも重要な役割を果たす。何が書かれているのか、具体的に説明を加える絵は、理解を助け、メッセージを明確にする。レイアウトは、文章と絵ができるだけはっきりと余裕を持って書かれていると、読者には情報が理解しやすくなる。かなり大きな字を使い、書体も楽に読めるものを採用し、文章部分は各フレーズの終わりで行変えにして、新しい行は文の自然な切れ目で始め、ピリオドの後はいつも新しい行になるようにする。

読みやすい本や雑誌・新聞の出版と共にスウェーデンでは読書指導員を置いて読書を奨励しているという。実際に行われたプロジェクトの結果が、以下のよう報告されている。

「プロジェクトの結果は、とても肯定的なものである。まず、本を与えられれば読める知的障害者が、最初考えられていたよりも多かった。更に、その中の多数の者が、それまで認められていた以上の知識をはつきりと示し、また、読書サークルによって異なるテー



マへの関心が呼び起こされると、質問や討論へと発展した。本のお陰で、以前は表現することができなかった思考や観念を言葉にすることもできた。ほとんどの参加者にとって、本は大きな価値をもつものとなった。

このプロジェクトはスウェーデンの知的障害者協会との協力で行ったものだが、読みやすい図書を必要としているとされている人は知的障害者に限らず以下のような様々の人たちである。

いろいろな障害が原因となつて、読む能力に問題が生じ、読みやすい図書の必要な人として挙げられているのは、

- 知的障害者。
- 読むことに問題がある人（ディスレクシア・日本では読字障害とか読み書き障害といわれている）
- 微細脳機能障害者（注意力、運動・認知障害のある人）。
- 自閉症の人。
- 言語獲得以前に失聴したろうの人。
- 盲ろう者。
- 失語症の人。
- 高齢で一部痴呆が見られる人。

また、公用語あるいは主要言語の能力が不十分な読者として、

- 移住して間もない人など公用語でない言語を母語とする人。

- 機能的非識字者および教育上不利な立場の人。
- 子ども。

を挙げている。

もちろん、これらのすべての人たちが読みやすい図書が必要としているわけではないが、対象読者の範囲は想像以上に広いと報告書は述べている。

確かに、細かい字の本はあまり借りられないのに大きい文字の本は比較的よく借りられるという事実は、知的障害の人に限らず高齢者にも見られる特徴である。

今までは、視力の問題としてしか考えてこなかったが、もしかすると視力以外の読みやすさの問題もあるのではなからうかと思われる。

以上のように読者の読みやすさにあわせた資料の提供という問題も識字に関わる図書館の大きな課題として考えていかななくてはならないだろう。



# 漢点字による漢文訓読文

## 表記の試み「補記」

横浜漢点字羽化の会 岡田健嗣

前号では漢文訓読文を、漢点字でどのように表記できるかを考えてみました。触読で漢文を読み解くことができて、しかも漢文の構造を損なわない表記法を何とか構築できないかと、繰り返し試行錯誤した後の一つの結論です。私の浅く未熟な理解から、笑止すべきものとなったであろうことを恐れます。しかしながら、まず一步を踏み出すことこそが有要と自らを叱咤して、諸兄弟のご批判を賜りたく、筆を執りました。次号から、よく知られた漢詩や漢文を、漢点字で表記するページを設けます。そこで、前号に盛ることのできなかつた「熟語」と「再読文字」の表記についてもご紹介すべく、再度紙に向かうことにしました。その前に、前号でご紹介した訓点（返り点と送り仮名）の表記について、よく知られた単文を例に確認したいと思います。



## 一 漢文の構造と訓点

「訓点のまとめのための例文」

豹、死<sup>レ</sup>留<sup>メ</sup>皮、人、死<sup>レ</sup>留<sup>ム</sup>名。

（豹は死して皮を留め、人は死して名を留む。）

青<sup>ハ</sup>出<sup>テ</sup>于<sup>二</sup>藍<sup>ヨリ</sup>而<sup>シ</sup>青<sup>シ</sup>于<sup>二</sup>藍<sup>ヨリ</sup>モ

（青は藍より出でて、藍よりも青し。）

百聞<sup>ハ</sup>不<sup>レ</sup>如<sup>カ</sup>一見<sup>ヲ</sup>。

（百聞は一見にしかず。）

### ①漢文訓読文の文字の配置

漢文は、中国語で書かれた文書で、漢字だけで表されています。そのような文を「白文」と呼びます。その漢文を日本語の文として読むことを、「漢文訓読」と言います。「漢文訓読」は、中国語の文を日本語として読むのですから、中国語和訳の性格を持ちます。

そのために、中国語の文の本体である漢字に、日本

語を加えたり、語の順序を並べ替えるための指示符号を付けたりします。これを一まとめに〈訓点〉と呼んでいます。

〈訓点〉には、語順を指示する〈返り点〉と、日本語を付加する〈送り仮名〉(カタカナ)があります。

前者は漢字の左下に、後者は右下に、縦書きの本体に対して左右に交差する位置に付されます。

### ② 漢文訓読の漢点字表記における訓点の配置

中国語の単語の最小単位は漢字一字です。幾つかの漢字が集まって熟語を作ることもあります。単語の単位は一つの文字と考えて差し支えありません。そこで〈訓点〉の対象となる文字も、漢字一字です。そして付される場所は、一連の縦書きの漢字の本体に対して、その中の一つの〈漢字〉を真ん中に、左に〈返り点〉(一二点、上下点等)、右に〈送り仮名〉と、本文と交差して配置されます。

漢点字の文では、縦書きは許されません。そこで、この左から「返り点・漢字・送り仮名」という並びを一つの単位ととらえて、それをそのまま横に並べる方法を採用しました。すなわち、「返り点・漢字・送り仮名」「返り点・漢字・送り仮名」……、と横一列に並べるのです。

### ③ 漢点字文における訓点

〈訓点〉には〈返り点〉と〈送り仮名〉があります。後者は漢点字文でも、原文通りカタカナを用います。前者は積極的に符号化しました。表二の(1)がそれです。

漢文には、算用数字は現れません。そこで、点字の数字を表すために前置する数符(●●●)を〈返り点符〉として前置することにしました。この〈返り点符〉があれば、その次の符号が何らかの〈返り点〉を表している訳で、その文の読みの順序に関わることが分かります。(●●●)は〈レ点〉ですから一文字後ろから前へ返って読みますし、(●●●●●●)は〈一二点〉です。から二(●●●●●●)の付いた文字をとばして、一(●●●●●●)の付いた文字まで読み進んで、再び二(●●●●●●)に返って読むのです。

〈返り点〉の働きと種類の詳細は、『うか』二四号をご参照下さい。

また、表二の(2)は、訓点のまとめの例文を横書き、漢点字書きしたものです。

ご精読下さい。





- 表 二 -

(1) 点字の返り点符号 (カッコ内はE I B R Kで点文字号に変換される文字)

返り点符：	レ点：			
一二点：一	二	三		
上下点：上	中	下		
甲乙点：甲	乙	丙	丁	
天地人：天	地	人		

(2) 「訓点のまとめの例文」の漢点字表記

豹ハ死シテ留メ皮ヲ、人ハ死シテ留ム名ヲ。

⠠豹 ⠠ハ ⠠死 ⠠シ ⠠テ ⠠留 ⠠メ ⠠皮 ⠠ヲ、⠠人 ⠠ハ ⠠死 ⠠シ ⠠テ ⠠留 ⠠ム ⠠名 ⠠ヲ。

青ハ出デテ于藍ヨリ、而青シ于藍ヨリモ。

⠠青 ⠠ハ ⠠出 ⠠デ ⠠テ ⠠于 ⠠藍 ⠠ヨ ⠠リ、⠠而 ⠠青 ⠠シ ⠠于 ⠠藍 ⠠ヨ ⠠リ ⠠モ。

百聞ハ不 如カ一見ニ。

⠠百 ⠠聞 ⠠ハ ⠠不 如 ⠠カ 一 見 ⠠ニ。

(3) 熟語と再読文字

例文一

我ハ欲ス読破セント書物ヲ。

⠠我 ⠠ハ ⠠欲 ⠠ス ⠠読 ⠠破 ⠠セ ⠠ン ⠠ト ⠠書 ⠠物 ⠠ヲ。

例文二

- (イ) 未ダ定マラ。
- (ロ) ル未ダ定マラ也。
- (ハ) 未ダ公開セ。
- (ニ) 我ル未ダ嘗テ聞カ有ル此ノ人也。

## 二 熟語と再読文字

### 例文一

我、欲<sup>ス</sup> 読<sup>ニ</sup> 破<sup>セント</sup> 書<sup>ト</sup> 物<sup>ヲ</sup>。

(我は書物を読破せんと欲す。)

### 例文二

(イ) 未<sup>ダ</sup> 定<sup>マラ</sup>。

(未だ定まらず。)

(ロ) 未<sup>ダ</sup> 定<sup>マラ</sup> 也。

(未だ定まらざるなり。)

(ハ) 未<sup>ダ</sup> 公<sup>ニ</sup> 開<sup>セ</sup>。

(未だ公開せず。)

(ニ) 我<sup>ルニ</sup> 未<sup>ダ</sup> 嘗<sup>テ</sup> 聞<sup>カ</sup> 有<sup>ル</sup> 此<sup>ノ</sup> 人<sup>ニ</sup> 也。

(我未だ嘗て此の人有るを聞かざるなり。)

## 1. 熟語

漢文中にも熟語が頻繁に出て来ます。しかし、先にも申しましたように、漢文は漢字一字を単語の最小単位とした文書ですので、単独の文字であれ熟語であれ、そのまま読み進むことができます。しかし、そこにある一連の漢字が単語であるか熟語であるかを判断することなしには、その文章を読むことにはなりません。

そのためには、他の分野の読書と同様に、多くの漢文に触れ、解説書をよく読んで、読解力を養い、知識と経験を積まなければなりません。

しかし、一つだけ約束事があります。漢文訓読文中に動詞の熟語があつて、そこに返り点が付く場合、その字句が動詞の熟語であることを示すために、(一) (ハイフン) で結びます。

例文一にある「読破」がそれです。この句のように、返り点は「破」を指示して、「読」には何も付きません。そのために、この二文字が熟語であることを示さなければ、読み方を誤ることもなります。そこで、このように「読・破」と、ハイフンで結ぶことにしたのです。

漢点字の文も同様に、ハイフンで結びます。点字の符号では表二の(3)の例文のように、(三) で表し

ます。

この符号は、本会が開発・使用している漢点字変換プログラム「EIBRK」を使ってコンピュータ点訳する場合、JISコード213E（ハイフン）の記号を入力することで、表二の（3）の点字符号に変換されます。

## 2. 再読文字

### ① 再読文字とは

漢文由来の熟語に「未来」、「将来」があります。これらは、私たちが日常的に用いている熟語ですが、漢文の中に現れる場合は、熟語とは読まれません。これを読み下しますと、「いまだこず」、「まさにきたらんとす」となります。

例文二には、「未」の入った短い文を三つと、やや長いセンテンスを一つ挙げました。

（イ）は「未定」、「いまださだまらず」と読み下します。「未来」と同じ読み方です。

「未」は、「いまだ」と「ず」という、二つの読みが一つの漢字に含まれた文字です。「いまだ：ず」、「今現在まだおこっていない」、「まだ経験したことがない」という意味です。このように、文の前方にあって、その文の状態を表現するために、最後に返ってもう一度読む文字を〈再読文字〉と呼びます。また、

このような読み方を、〈底返り〉と呼んでいます。

〈再読文字〉には必ず動詞になる文字が続いて、〈返り点〉が付されます。

（イ）では、「定」が動詞で、〈返り点〉は〈レ点〉です。〈送り仮名〉は「未」には「ダ」、「定」には「マラ」が付されて、最後に「未」を「ず」と読んで終わります。

（ロ）は、（イ）の文に「也」が加えられたものです。この場合は「いまだ：ざるなり」と読みますので、「未」の左下に「ル」が〈送り仮名〉として付け加えられます。読み下しますと「いまださだまらざるなり」となります。

このように〈再読文字〉では、文字を二度読みますので、〈送り仮名〉も二つ付されることがあります。

二度目に読まれる〈送り仮名〉は、その漢字の左下に付されます。つまり初めに右側の〈送り仮名〉が読まれて、最後に左側の〈送り仮名〉を読んで終わるのです。

（ハ）は、「未公開」を読み下す文です。この文では「公開」という熟語が動詞となっています。「開」の前に「公」の字がありますので、〈返り点〉は（一二点）が使われます。読み下しますと「いまだこうかいせず」となります。



(二)には、意味を持ったセンテンスを挙げてみました。読みの順に従って文字を追ってみましょう。

「我」に始まって「未ダ」と読みますが、そこに〈返り点〉の二(●●●●)と〈送り仮名〉の「ル」が付されていることに注意して下さい。「嘗テ」と読んで「聞カ」に至りますが、ここに〈返り点〉の一(●●●●)が付されています。すなわち、ここで「未」に返ることが指示されているのですが、「なにを？」と、いう意味の文は、この後に続く文なのです。その次に〈返り点〉のレ点(●●●●)、その次の「有ルヲ」に〈返り点〉の二(●●●●)が付いています。つまり、ここにある〈レ点〉は、ここから後ろの文全体を受けてその前の「聞カ」に渡す働きをしているのです。「此ノ人」の「人」に〈返り点〉の一(●●●●)が付いていますので、二の「有ルヲ」に返って読んで、「聞カザル」、最後の「也(なり)」で終わります。

このように、〈再読文字〉の代表として「未」を取り上げて参りましたが、他にどのような文字がありますか、ご紹介しましょう。

### (カタカナは送り仮名)

将…まさニ…す。(今にも…しようとしている。)  
且…まさニ…す。(今にも…しようとしている。)

当(當) …まさニ…ベシ。(…するのが当然である。…しなければならぬ。)

応(應) …まさニ…ベシ。(恐らく…であろう。)  
宜(應) …まさニ…ベシ。(…する方がよい。)

須…すべからク…ベシ。(必ず…すべきである。是非…しなければならぬ。)

猶…なホ…ごとシ。(あたかも…のようである。)

### ②再読文字の漢点字表記

これまで述べて来ましたが、漢点字で漢文訓読文を表記するには、左から「返り点・漢字・送り仮名」という左右の並びを一つの単位として、順次横列にすることで表すことにしました。この原則は、〈再読文字〉にも当てはまります。ここに挙げた「未」ばかりでなく、〈再読文字〉には再読のための〈送り仮名〉が左下にも付きます。しかし、それも含めて原則通り横並びに表記できると考えました。

表二(3) (二)ののように、「未」は、「いまだ…ざる」と読む場合、「ル」が〈返り点〉として「未」の左下に付いて、「返り点・送り仮名・漢字・送り仮名」という並びになります。他の〈再読文字〉でも、「当(當)」は「シ」、「応(應)」も「シ」、「宜」も「シ」、「須」も「シ」、「猶」も「シ」が

（送り仮名）として左下に付されます。これらも「未」と同様に表記することができます。

（注）「再読文字」としてここに挙げた文字も、必ずしも再読されるばかりではありません。ご注意ください。

以上、早足でご紹介して参りましたが、漢点字による漢文訓読文の表記の原則を整えることができませんでした。

今後は、実際に文書の表記を試みて、不備な点の修正に努めたいと考えております。

本会をご支援いただきありがとうございます皆さま、会員及び漢点字読者の皆さま、暖かいご批判を賜りますようお願い申し上げます。筆を置かせていただきます。

## 報告と案内

### 1. 賛助会員への御礼

以下の方から、二〇〇〇年度の賛助会費をご入金いただきました。厚く御礼申し上げます。今後とも、ご支援のほどどうぞよろしくお願い申し上げます。

木原 純子 様	小川 育子 様
松村 敏弘 様	飯田 みさ 様
田崎 吾郎 様	河村 幸男 様
前嶋 昭夫 様	高竹 高雄 様
政井 宗夫 様	

### 2. 横浜市立中央図書館へ納入

『聊齋志異 下巻』漢点字版を、二〇〇〇年度分の納入書として製作して参りましたが、この四月末には納入できる見通しとなりました。

全一八巻。昨年納入した上巻と合わせますと、三六巻となります。

どうぞご利用下さい。

なお、二〇〇一年度の納入書として、丸谷才一著『新新百人一首』の製作を鋭意進めております。ご期待下さい。

### 3. 改定著作権法が施行

本年（二〇〇一年）一月一日から、著作権法の一部が改定、施行されました。文化庁・著作権課に照会しましたところ、以下の三点が、本会の活動に関係することが分かりました。

①点訳された文書は、コンピュータ点訳であつて

も、著作権者の許諾を得ずに配布することができ  
る。

② 電子データの配信も、点字のデータであれば、著作権者の許諾を得ずに行うことができる。

③ 活字書ばかりでなく、既存の電子データ（CDROMやインターネット等を媒介に入手可能なもの）を点訳の原本とする場合も、著作権者の許諾を得ず  
に使用することができる。

#### 4. 漢点字の電子化とそのサービス

本会も、著作権法の改定を受けて、電子データの配信を計画しております。以下のような方法を採用する  
予定です。

① 漢点字のデータを電子化：本会で開発・使用して  
参りました漢点字変換ソフトEIBRKで、漢点字の  
電子データ（EIBファイル）を作製する。

② 専用ソフトの配布：漢点字の電子データ（EIBフ  
ァイル）を読むための専用ソフトEIBKRKを、希望  
者に無料で配布する。

③ リストの作製と配布：漢点字の電子データ（EIB  
ファイル）のリストを作成し、希望者に配布す  
る。

以上、この秋を目標に、環境を整えて参ります。

#### 5. モニターの募集

4. でご紹介しました漢点字電子データ（EIBフ  
ァイル）のサービスを、この秋から試験的に開始する予  
定です。そのモニターをお願いできる方を募集しま  
す。E-MAILで配信します。ご協力いただけます方は岡  
田までお申し出下さい。

E-MAIL address: takeshi-okada@h2.dion.ne.jp

#### 6. BM16にも対応

漢点字変換ソフトEIBRKは、これまでKGS製のピンデ  
イスプレイ、ブレイルノート40A・46Cの二機種に対応  
しておりましたが、今回、同社のブレイルメモBM16に  
も対応することができました。現在は、ピンディスプ  
レイとしての機能をカバーしておりますが、データを  
同機のメモリーに送って、読書器としての活用も検討  
しております。ご期待下さい。

#### 7. 漢点字学習者の募集

漢点字の普及をはかるために  
は、使用者の拡大が必要です。

ご希望の方をご紹介下さい。







# 漢点字ってどんな字？ 24



うか  
う  
禾  
節



未



お



志

み  
来  
ち  
ゃ  
ん

基本文字というのは全部、部首になる字ね。


志  
朗  
君

一マスの漢点字と、それが部首になった字、それに二つの対象基本文字だ。

おねえさん

これで漢点字の基本が分かったわね。



どうして漢点字では同じ（ヤ）になるの？

根



や 眼



の 旁は良つく

良と少し違うのに

これが部首になると、  
になるわよね。

朗



や 浪



比較文字のところに、

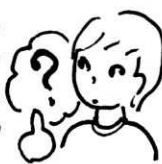
良



があつたわね。

ええっと、実は一つ疑問があるの。

さあ、今日は何をしましょうか。



志 へえ、鋭いね。



お 今日、その疑問に応えながら漢点字がどうなっているか考えましようね。

# 近似文字

形に注目!



未 〈良〉の上の点がない字なんてある？

志 あるんじゃないかな。

未 うん、あるある、これ結構難しい字なんだ！

ええつとね、〈良〉、

音は〈コン〉で、訓は〈うしとら〉。



志 普段使わない字だけど、部首として沢山使われているね。



お ウシトラってなに？

志 十二支だよ。十二支の丑と寅だ。丑と寅の間かな。

未 方角の北東って書いてあるわ。

お 漢点字は



つまり良



と似ている、



似ている、

良



漢字は



という意味ね。

似ている点字

良



お 未

木と本、九と丸、大と太…、よく似た漢字って沢山ありそう。

そうね。

川上先生は、このように点が付いたり付かなかつたりして、文字が違う字に変わるものを、形の上で似ているという意味で、『近似文字』と呼んで一つにまとめたのよ。

ニマスの漢点字で、一マス目に

① 点



② 点



③ 点



またはニマス目に

④ 点



⑤ 点



⑥ 点



付けることであらわしたのよ。



お 志 未 志

どちらも点は端にくるんだ。

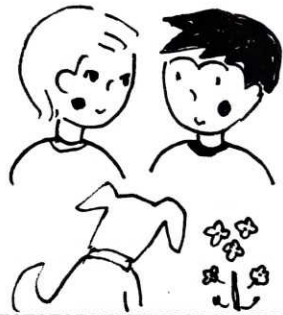
近似文字の印というわけね。

近似文字は、部首にもなる字だね

そうよ、近似文字と、その字が部首になった字を挙げてみましよう。



第一基本文字に似ている字と、漢数字や比較文字に似ている字に分けて、考えてみてね。

妹の漢字は、女+未だけど、漢点字では、末の部首の所に入っているから注意してね。


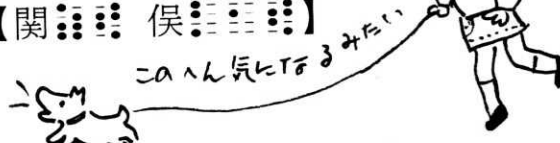





(A) 第一基本文字（一マス漢点字）の近似文字

頁	首	【道】	妹に注意！ 
貝	具		
木	未	【味 来】	
	末	【妹 沫 抹】	
	本	【体 鉢】	
田	由	【抽 油】	典は 曲と八の 組み合わせじゃ！ 
	曲	【典】	
氷	永	【泳 詠】	
心	必	【秘】	

(B) 漢数字や比較文字の近似文字

三	参	(さんづくり)	前置符号が、 ①②③の点にか わっている。 
九	丸		
億	意		
大	天	【関 俣】	このん気に行きま た 
	太		
	夫		
良	良	【眼 銀 根 恨 痕】	
低	氏	【紙】	

【 】内は、その近似文字が部首になる字の例。

Aの 第一基本文字に似た字は

二マス目に④、⑤、⑥の  
点が付いているのね。

木



「キ」に似た漢字



キと④の点  
に始点終点

キと⑤の点  
に始点終点

キと⑥の点  
に始点終点

木

木

木



木

木

木

志 近似文字が部首になると、

例えば本



の場合、



体  
や 鉢



になる  
ように、

もとの近似文字の印を残し  
ているものが多いんだ。

お

未

志

犬も、ケに始点終点だね。  
みんな形が似た字なんだ。  
近似文字って、他にもあるのしら。

Bの 漢数字や比較文字に似た字は、

一マス目に①、②、③の点が  
付いているわ。

大



「④⑤・ケ」に似た漢字



①の点とケ  
に始点終点

②の点とケ  
に始点終点

③の点とケ  
に始点終点

大

大

大



大

大

大

これから二マスの第二基本文字の勉強に  
入れば、その字に似た字も出て来るわ。  
だから、このような字が出て来たら  
「近似文字」だと思ってね。



円はエン 鬼はオニ  
発音文字



お

今日はもう一つ勉強しましょう。  
これも基本文字の一つなんだけど  
今までの分類に入れられなかった  
ものをまとめたのよ。  
〈発音文字〉っていうの。

志

やっぱり部首になるのかな？  
そうよ。

未

〈発音文字〉って、  
かなの点字で読みを書いて、  
始点と終点を付けたものよ。  
発音をカタカナ  
で書いて  
みるわね。



おもしろいね

- 円 (エン)
- 対 (タイ)
- 鬼 (オニ)
- 告 (コク)
- 生 (セイ)
- 争 (ソー)
- 反 (ハン)
- 民 (ミン)



- 事 (コト)
- 拜 (ハイ)

- 【魂 塊 魅】
  - 【浩 星】
  - 【箏】
  - 【飯 坂 仮 阪】
  - 【眠】
- 魂には鬼のニ、  
魅には鬼のオが  
入ってる…
- 眠は、目のメと  
民のンでメン……



【 】内は、その近似文字が部首になる字の例。



あをあをと空を残して蝶分れ



大野 林火



轉をこぼせど抱く大樹かな



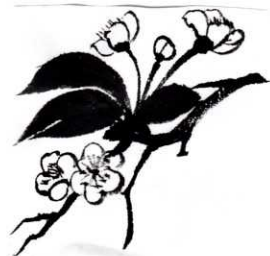
星野 立子



春鹿の眉あるごとく人を見し



原 石 鼎



(「歳時記」より)

### 編集後記

日増しに暖くなり、花の満ちる季節となりました。街のあちらこちらで、新社会人や学生の方達の姿が見受けられます。

羽化の編集をお引き受けして、四回目になりましたが、未だに発行後、おかしな所を見つけては赤面しております。

今回も、点字や漢文の勉強不足が露呈して「これからも大丈夫？」と家族より一言。耳の痛い言葉です。

そういう時でも、編集時にご協力を頂きました、吉田さん（「漢点字ってどんな字？」の挿絵担当の方）とのお話で、気持ちが出来になったように感じます。

「肩をはずさず、ゆっくり勉強していきましよう。」そのお言葉のように、初心に返り、もうしばらく続けてゆきたいと思います。

あらためて、よろしく願います。

次の発行は六月十五日です。

宇田川 幸子

※本誌（活字版・テープ版・ディスク版）の無断転載はかたく

お断りします。

表紙絵 岡 稲子

## 連載 漢点字変換ソフトEIBRKについて(9)

木下 和久

前号に引き続きWindows版のEIBRK(プログラム名はEibrkw.exe)について説明します。

### (4) 印刷(つづき)

#### b) 変換画面印刷

変換画面では点字行とテキスト行(墨字行)が交互に配置され、テキストの文字とそれに対応する点字が1対1の関係で表示されています。このままのイメージで墨字プリンターに打ち出すのがこの「変換画面印刷」です。しかし、前述のようにこれは簡易印刷なので、本格的にきれいな印刷結果を得たい場合は、そのためのファイルを作ります。これは次項で説明する「変換」の中にある「一太郎(Win)」で点字部分を外字で表示したテキストファイル(元のファイル名の後ろにJをつける)を作って、それを一太郎などのワープロソフトで印刷します。

#### c) テキストファイル印刷

これも上と同様、簡易印刷です。画面のテキストファイルを墨字プリンターに出します。やはり、本格的にきれいな印刷結果を得たい場合は、一太郎などのワープロソフトをご利用下さい。

### (5) 変換

このメニューにある「漢点字変換」をクリックすると、未変換のファイルは変換を、すでに変換されたファイルは再変換をします。これは、Ctrl+Hキーによっても実行することができ、また先に説明したように変換画面の下にある「未変換」または「変換済」の文字をクリックしたり、単に画面を移動するだけでも自動的に再変換が行われます。変換画面を編集して内容変更した場合、テキストセーブ(f.3キーを押

す)をしないで再変換すると、変換画面の編集前の状態に戻りますので、これらの変換操作については目的にあった操作をするようご注意ください。

このメニューには、その他に「一太郎 Ver. 4」と「点字テキスト Win」があります。これは、変換画面の点字部分を外字で表したテキストファイルに変換するもので、一般のワープロソフトで印刷をするのに適したファイルです。デフォルトでは、そのファイル名はテキストファイル名にJをつけたものです。この名前が不適当な場合は、ファイル名を確認する段階で適当な名前を付けて保存して下さい。

一太郎 (Ver. 4) のファイルは、MS-DOSの一太郎でしか使えませんが、点字テキスト (Win) のファイルは、Windowsのどのワープロソフトでも使えます。

このメニューには、もう1つ「eibファイル変換」という項目があります。これは、点字変換されたファイルの、点字コードのみの部分を含むファイル（拡張子は.eib）を作るものです。このファイルは、点字データファイルを一般に配布することを目的にしたもので、このファイルにはテキストデータは入っていません。このファイルを利用するには読み取り専用のソフト、eibrkr.exeが必要です（現在のところ、MS-DOS版のみ利用可能）。

## (6)点字画面

メニューの「点字画面」には各種の編集操作が表示されています。そして、その多くにはコントロールキーと組み合わせたキー操作のショートカットがあり、ここに表示されています。マウスでメニューから選んだり、キー操作で簡単に操作したり、それぞれにやりやすい方法で編集作業を進めることができます。

以下各項目毎に簡単な説明を加えます。

### a) ジャンプ (ファイルページ、印刷ページ)

「ジャンプ」には3つのモードがあります。1つは行ナンバーを指定するもので、ファイル全体の行数（変換画面下段のステータスバーの2



番目の窓に、現在のカーソル位置のある行を分子に、全体の行数を分母に表示)を参考にして行きたい行ナンバーを指定します。

2つ目はファイルページで、ファイルの最初を1ページとするページ数です。3つ目は印刷ページで、印刷されるページNo.を指定してジャンプすることができます。2番目、3番目のジャンプは、表示されているようにCtrl+KあるいはCtrl+Lで直接ページ番号指定ができます。

また、ジャンプは上述の他に変換画面の下にあるステータスバーにある項目をクリックしてもそれぞれの効果が得られます。文頭、文末、次ページ、前ページ等はそれらの語句が示すとおりの動作をし、その他PgUpとPgDnキー (NECのPC9801またはPC9821ではRollUpとRollDown) はそれぞれ前画面と次画面へのジャンプとなります。「連動ジャンプ」はテキストファイルの画面表示部分に相当する変換ファイルの部分にジャンプするものです。これは、テキストファイルのある部分を変更したとき、それが変換画面ではどのようになっているかを確認するとき、便利な操作です。これは、反対に変換画面を移動したときに、それをテキスト画面で確認するときにはテキスト画面の下段にある「連動ジャンプ」をクリックします。連動ジャンプがうまく効かないときは、変換されたファイルに行番号の位置が正確に登録されていない場合で、再変換すれば連動ジャンプが有効になります。

#### b) 改行マーク挿入

改行マークを挿入したい場所へカーソルを持って行き、この項目をクリックするか、直接Ctrl+Rのキー操作をします。

#### c) 改ページ挿入

上と同様に改ページマークの挿入は、Ctrl+Pのキー操作か、ここでの項目クリックです。

#### d) 挿入

文字列を挿入したいとき、カーソルをその場所に移動して (カーソ

ルは位置調節用の\*つきの半角の青色文字はスキップして移動します)、Insキーを押します。このメニューの「挿入」をクリックしても同じです。挿入する文字列は、テキスト画面から範囲指定して「コピー」操作をしてクリップボードに積み込んでおけば、ここでCtrl+Vキーを押すことによって入力場所に貼り付けることができます。

ファイルが「ページ付けあり」のモードで、カーソルがページの最上部にあるときは、そこで挿入されるデータはページ行のデータとして扱われ、その記録はテキストファイル本体とは別の拡張子が [.TXP] のページ行ファイルに保存されます。この場合、カーソルがその行頭または2文字目にあると、入力は数字に限られて、それは原文ページなどを表す数字になります。それより右の位置で挿入される文字列は、ページ行に表示される文字列になります。

#### e) 削除

カーソル位置の1文字を削除します。Delキーも同じ働きをします。BackSpaceキーは、その前の1文字を削除しながら左へ移動します。

#### f) スペース挿入 (Ctrl+Sp、Ctrl+B)

EIBRK(W)では、変換画面で3種類のスペースが使われています。いずれも点字行では空白ですが、テキスト行では、全角スペース、\*bと、\*Bと区別されています。テキスト行の全角スペースは本来のテキストファイルにあるスペースで、改行後の行頭に1つしかない場合は自動的に2つに変換され、また、上の行からの継続のために行頭に入ったスペースは前詰めされて、こうして前詰めされたスペースは直前行の行末に半角の+2などの数字で個数が表示されます。\*bは記号などで、変換の際自動的に挿入されたスペース、\*Bは文字と同様に扱われるスペースで、上に述べたように行頭で自動的に調節がされません。

ここで挿入できるスペースはそれぞれの項目をクリックするか、Ctrl+スペースバーで挿入される通常のスペースと、Ctrl+Bキーで挿入される\*Bのスペースです。

(以下次号)